

# マルキ通信

平成4年 5月

第 10 号

関西Kサークル スキークラブ

## ☆ 平成4年度のすべての行事を終了して

会 長

川 畠 徹也

〔春の八方はすばらしい〕目前に迫る北アルプス連峰の眺望、スキー狂垂涎のゲレンデの中の山小屋、なによりもきれいに圧雪された早朝の人気のないゲレンデを、一気に2500メートル程を滑り降りる爽快さ、特にこの点だけは、我々山小屋を利用できる者のみの特権でしょう。またここはKサークルにも思い出の多いゲレンデです。

平成4年度もこの八方のサヨナラスキーをもって無事すべての予定を完了しました。これも皆さんのご協力の賜と感謝いたしております。

本年度は今までになく幅広く、アウトドアスポーツなど盛り沢山に企画しましたが、それぞれ担当の人々の努力で参加者の好評を得、予想以上の大成功でした。また検定種目の練習会、理論学習会などを行い、筆記試験はみんな高得点をあげております。技術面では、奈良技選、西日本技選に出場、C級指導員合格、SAJ指導員合格など、過去に見られなかった合格者の人数から見ても、関西Kサークルのレベル向上が裏付けられたものと思います。そしてさらにクラブ全体のレベル向上につながっていくことでしょう。クラブ行事には積極的に参加し、連帯感を強め、さらに上のレベルに挑戦して行きましょう。

## ”サヨナラスキー報告



今年も雄大な北アルプスを目前にしたゲレンデ内の宿舎で、シーズン最後のフィナーレスキーを楽しく、事故もなく実施いたしました。

- ◇ 日 程 平成4年3月20日(金)～23日(月)
- ◇ スキー場 八方尾根 黒菱スキー場
- ◇ 参加者 総員35名(うち指導員5名)

参加者から感想文が寄せられましたので、次ページ以降で紹介します。  
投稿ありがとうございました。

私がかここ数年心がけてきた私なりのスキー上達のポイントを紹介させていただきます。技術の向上は活動の場を広げ、楽しさを倍加させます。皆さんの技術の上達にすこしでもご参考になれば幸いです。

- 1) あらゆるバーン、雪質の中をできるだけ各種の滑りをし、成功時の滑りのパターンを体験し、回を重ね身につけること。
- 2) 急斜面、コブに対する恐怖心を無くするため、チャレンジ精神を持ち経験すること。
- 3) 慣れた技術にとらわれず、改良すべき点はすぐに直し、新たな技術をつぎつぎ学ぶ気持ちを持つこと。
- 4) 自分の技術にマッチした用具を選択し、その性能・特性をつかんでおくこと。
- 5) シーズンオフにもパワーを付けたり、バランス感覚を養うようなスポーツを(トレーニング)行っておくこと。

これらの条件が揃っているとすれば、オフシーズンにも確実にスキー上達への近道を進んでいるのではないのでしょうか。

上記の条件のひとつであるスポーツでは、私は是非近年行っているウインドサーフィンをお勧めしたいと思います。(デモのなかにウインドをされている方が何人かいるとききます。)その理由は、(1)自然の中で楽しみながら筋力を鍛え、バランス感覚を養い、引力や風力を利用した滑走感覚はスキーと同じである。(2)シーズンの的にスキー→ウインド→スキーと我々には重複しない。スキーが上手になりたいと思っておられる方、次のシーズンまで何をすべきか迷っている方は、ぜひとも一度チャレンジしてみたいはかがでしょうか。

~~~~~ ☺ ~~~~~ ☺ ~~~~~ ☺ ~~~~~  
2級に恥じない滑りを!

ゼッケン18 中農 剛司

今回でKサークルに参加して3回目になります。何回も参加するにつれて、大分顔見知りも多くなり、気軽にしゃべれるようになりました。私は初め、友人の紹介でこのKサークルに参加しました。その友人は川島先生をよく知っていましたが、私はまったく知りませんでした。でも川島先生は初めてだった私にも親切に指導してくださり、「今度も来いよ。」といってくださいました。私はスキーがもっとうまくなりたかったので、何回も行ってうまくなろうと思いました。そしてようやく今までの講習の成果が実って、2級に合格しました。これからは2級の滑りとして恥ずかしくない滑りを心がけます。

~~~~~ ☺ ~~~~~ ☺ ~~~~~ ☺ ~~~~~  
サヨナラスキーツアーに参加して

川西 雅之

今回初めてKサークルのスキーツアーに参加させていただきました。今まで数年間、自己流でスキーをしていました。受講してあらためて自分の欠点を見なおすことができ、大変有意義な4日間でした。

Kサークルに参加することになったのは、そもそも昨年夏に、淀川鳥飼大橋河川敷で川島先生とWSFを通じての出会いがきっかけでした。私はウインドサーフィンが3度の食事の次に好きで、ここ8年ほど四季を通してボードに乗っています。夏は南西の風が吹くので、近辺で風がよく吹くゲレンデというと淀川なのです。ヘドロやゴミの浮いている淀川でも、風に乗ってセールをコントロールし、ボードがプレーニングすればやっぱり気分は爽快。

スキーもWSFもバランスを必要とするスポーツです。スキーのオフシーズンには皆さんもWSFにチャレンジしてみたいはかがでしょうか。機会があれば、サマーバケーションにも参加したいと思っています。

~~~~~ ☺ ~~~~~ ☺ ~~~~~ ☺ ~~~~~  
☞ 幻聴でしょうか ☜

ゼッケン2 谷浦 研三

今回のサヨナラスキーをもって今シーズンのスキー日程を終え、同時に学生生活最後のスキーを楽しみました。今まで学生という特権を使って、暇があれば信州へ、暇がなければ六甲へ、金があれば民宿に泊り、金がなければ車に泊まるというペースでスキーに行きまわりました。今シーズンも卒業研究の合間をぬって（先生の目を盗み）40日ほど滑りました。しかし、滑走時間は頑張って増やしたつもりですが、我流のスキーが長い時間なかなか上達しません。滑っていても頭のなかでは「体軸」「くの字」という単語がくりかえし出てきます。それもなぜか川島先生の声で聞こえます。幻聴でしょうか？

今シーズンはこんな幻聴を聞きながら滑ったためか充実したシーズンでした。来シーズンには社会人スキーヤーとなるので、今シーズンに「意識して滑る」ことを学ぶことができよかったです。

~~~~~ ☺ ~~~~~ ☺ ~~~~~ ☺ ~~~~~  
☞ 2級 ☜

ゼッケン24 泉井 かおり

今回のサヨナラスキーで、Kサークルの諸先生方、一緒に頑張った友達たちの励ましのおかげで、2級に合格することができました。合格発表の時うれしくてうれしくて、私はあふれそうな涙をこらえるのに必死でした。本当にありがとうございました。

私をスキーのとりこにした張本人の谷浦研三君は、とうとう社会人となり、東京へ行ってしまいました。とにかく2級を取得したい一心で、今シーズンも私は彼の後をぴったりと小判鮫のごとくくっついて離れませんでした。彼にとって私は文句たれの目のうえのタンゴブ、一緒に滑っていて少々うっとうしいやつだったかもしれません。（そんなことはない？）でもみなさん、たとえ嫌がられても、体力差があっても、ガッツで上手な人と一緒に滑りましょう。というわけで、来シーズンもKサークルのみなさん、そして谷浦研三君私と一緒に滑ってください。

~~~~~ ☺ ~~~~~ ☺ ~~~~~ ☺ ~~~~~

（以下は前号で掲載できなかった方々の作品です。）

☞ 感謝の印の作文です ☜

田中 美樹

私がスキー板を履くのも、これが三回目です。滑るにしても遊ぶにしても、やっと余裕が出てきたと思いました。同時に「アッ少しばかりは上手になったかな？」とはしゃいでいます。

今回のツアーで、「こりゃいい、楽しい。」と思ったことがいくつもありました。それは午後のフリーの時間がいっぱいあったり、大から小まで多種多様な人たちと会話できたりしたことなどなど。まさに私にとっていっぱいの「ありがとう」なツアーでした。

☞ Kサークルに参加して ☜

小林 千穂

Kサークルのスキーに参加したのは初めてで、少し不安もありましたが、とても楽しみにしていました。

嬉しかったことは、あたり一面真っ白な雪景色、そして何ととっても、スキーができたことです。4級にも合格できました。フリーの時間も多く有効に楽しくスキーができたように思います。転んだ回数を数えだすと限がありませんが。今回ツアーに参加して、いろいろな人と出会え、「本当にスキーが上手になりたい」と思いました。

来年も是非参加したいと思います。大変お世話になり、ありがとうございました。

~~~~~ ☞ ~~~~~ ☞ ~~~~~ ☞ ~~~~~

☆おめでとうございます。 --- 級別テスト合格者 ---

1級合格者 五十嵐成和・谷下京子

2級合格者 泉井かおり・中農剛司・赤木俊之

3級合格者 大伏 貴麿・野村正幸・福田直樹 (敬称略)

## 会員情報

このたび次の方々が以下のような資格を取得されました。おめでとうございます。心からお祝い申し上げますと共に、これからのますますのご活躍をお祈り申し上げます。

- ・ S A J 指 導 員 谷下準一
- ・ 日体協C級スポーツ指導員 田中久子・谷下京子・野木万也 (敬称略)

## お知らせ

(1) 今年のサマーバカンスの日程が下記のように決定いたしましたので、ご報告させていただきます。一人でも多くの方が参加して下さるよう、お待ちしております。

- ・サマーバカンスPART I 平成4年8月1日(土)～2日(日) 瀬戸内海 男鹿島
  - ・サマーバカンスPART II 平成4年8月22日(土)～23日(日) 琵琶湖 関大彦根荘
- 詳細は谷下準一(0797)86-6385、または川島徹也(06)848-1933へ

(2) 今年も会費徴収の日が迫ってまいりました。後日振込み用紙を送付させていただきますので、6月19(金)迄にお振込みください。なお、指導員の方は登録の関係上、特に期限を厳守願います。